

PT930 スタートガイド

本ガイドで取り扱う範囲

本ガイドでは PT930 で最初に行う設定と操作手順が説明されています。詳しい説明は同梱の CD-ROM をご覧ください。

PT930 をパッケージから取り出す

各パッケージには次のものが含まれています。

- PT930
- スタイラスペン - PT930 の裏側上部に内蔵
- リチウム・イオン・バッテリーパック
- CD-ROM には PT930 ユーザーズマニュアル、PT093 取扱説明書とその他のドキュメントが入っています。

その他はオプションです。

1. 箱、梱包材は修理等で送付される場合に必要ですので、保管しておいてください。
2. 注文された製品がすべて入っているかどうかパッケージの内容を確認してください。
3. 配送の途中で損傷していないかどうか確かめてください。何か足りないとか損傷している場合は、当社へご連絡ください。

PT930 の設定

作業場所の選定

PT930 を作業しやすい高さのところへ置きます。次のような場所は避けてください。

- 温度や湿度が急に变化する場所
- 埃っぽい、高温、多湿、直射日光があたる場所
- 放熱物体のそば
- 強い電磁場を放射する物体（ステレオのスピーカーなど）のそば
- 液体や腐食性の化学薬品のそば

PT930 を使う場合でもまた保管する場合でも、高温や低温の場所は避けてください。人間にとって快適な温度や湿度は、PT930 にとっても快適な温度や湿度です。

バッテリーパックの取り付け

1. ユニットの裏側の下方にあるバッテリーコンパートメントの蓋のボタンを押して横に引き、蓋を取りはずします。
2. バッテリーパックのラベル側が手前に、バッテリーパックのリボンがユニットの下になるように置きます。バッテリーパックがバッテリーコンパートメントにきちんとはまるように、バッテリーパックをしっかり挿入します。
3. バッテリーパックのリボンがバッテリーパックの上になるようにして、バッテリーコンパートメントの蓋を横に引きます。蓋をしっかり押し込みます。蓋のラッチが下りるとカチッという音が聞こえます。

PT930 の電源

1. 充電/通信ケーブルを PT930 に接続します。
2. AC アダプタを充電/通信ケーブルの電源ジャックとコンセントに接続します。
3. PT930 の電源スイッチを入れます。

メインバッテリーとバックアップバッテリーを初めて充電する

リチウム・バックアップ・バッテリーを完全に充電するために約 14 から 16 時間かけて本ユニットを充電してください。（バックアップ・バッテリーを充電するために PT930 の電源を入れる必要はありません。）

注意：AC アダプタに接続した充電/通信ケーブルを使わないで、しかもバックアップ用リチウムバッテリーを十分に充電しないで PT930 を初めて操作すると、RAM メモリ内のデータが失われることがあります。

PT930 の操作

PT930 の電源を入れる

電源 ON/OFF ボタンを押して PT930 のスイッチを入れます。PT930 がサスペンドモードのときは、電源 ON/OFF ボタンを押します。

PT930 の電源を切る

PT930 がサスペンドモードのときは、電源 ON/OFF ボタンを押します。電源 ON/OFF ボタンを押して PT930 をサスペンド状態（あるいはスリープ状態）にします。PT930 をサスペンド状態にすると電力を節約することができ、しかも最後に使用した画面から再開できます。

スタイラスペンの使用

警告！PT930 のスタイラスペン以外のものをスクリーンで使用しないでください。使用すると、スクリーンが黒くなる等、取り返しのつかない損傷を起こします。

1. 鉛筆を持つようにしてスタイラスペンを持ちます。
2. メニューから選択するときは、スタイラスペンの先端で希望のメニュー項目を軽く押します。
3. フィールドにデータを書き込むときは、スタイラスペンを使って文字や数字を書きます。できるだけ圧力をかけないで使います。

レーザーキャナ

警告！キャナのレーザー光線を見つめると、取り返しのつかない損傷を受けますので、見つめないでください。

PT930 のレーザーキャナ・モジュールは、Class II レーザー製品です。出力ウィンドウから 1.0 mW のレーザー光線が放射されます。本製品は、U.S. Department of Health and Human Services (DHHS) Regulation 21 CFR Subchapter J 準拠製品です。この状態を保つためのメンテナンスは必要ありません。プロジェクトの調整やコントロールはできません。Class I の限度を越すレーザー光線は、内部の保護カバーの中で放射されます。

一般規定

FCC ステートメント

本装置はテストの結果、Federal Communications Commission (FCC) 規定の Part 15 に基づく Class A デジタル装置の限界基準に準拠しています。これらの限界基準は、本装置が商業用に操作される場合に、常識的な保護を与えるためのものです。本装置は添付のマニュアルに従わずに使用すると、高周波エネルギーを発生し、また放射して、無線通信を妨害することがあります。本装置を住宅地で操作すると、無線通信を妨害することがあります。その場合、対応が必要なときは、ユーザー負担となります。

本紙の情報は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。また、偶発的、あるいは本紙の情報を使用した結果起こる損傷に対しても責任を負いません。本紙は著作権で保護されています。すべての権利が当社に帰属します。当社の書面による事前許可なしで、本紙のどの部分も複製することはできません。

©Copyright 2000 – 2001 unitech Electronics Co., Ltd. All Rights Reserved.

HEAD OFFICE

Unitech Electronics Co., Ltd.
8Fl., No. 118, Lane 235,
Pao-Chiao Rd., Hsin-Tien City,
Taipei Hsien, Taiwan, R.O.C.

Tel: +886-2-8912-1100
Fax: +886-2-8912-1391
Email: adicsales@unitech.com.tw
http://www.unitech-adc.com

日本支社

ユニテック・ジャパン株式会社
351-0034
埼玉県朝霞市西原 2-12-4
協同第二ビル 4F

Tel: 048-486-2677
Fax: 048-486-2688
E-mail: sales@unitech-japan.co.jp
http://www.unitech-japan.co.jp

